

<48> 歌。コラ人の賛歌。

48:1 【主】は大いなる方。大いにほめたたえられるべき方。主の聖なる山私たちの神の都で。

48:2 高嶺の麗しさは全地の喜び。北の端なるシオンの山は大王の都。

48:3 神はその都の宮殿でご自分を砦として示された。

48:4 見よ王たちは集ってともどもにやっ来てた。

48:5 彼らは見ると驚きおじ惑い慌てた。

48:6 その場で震えが彼らをとらえた。子を産むときのよくな激しい痛みが。

48:7 東風によってあなたはタルシシュの船を砕かれる。

48:8 私たちは聞いたとおりを見た。万軍の【主】の都私たちの神の都で。神は都をとこしえに堅く立てられる。セラ

48:9 神よ私たちはあなたの宮の中であなたの恵みを思いました。

48:10 神よあなたの御名と同じくあなたの誉れは地の果てにまで及んでいます。あなたの右の手は義に満ちています。

48:11 あなたのさばきのゆえにシオンの山が喜びユダの娘たちが楽しめますように。

48:12 シオンを巡りその周りを歩け。その塔を数えよ。

48:13 その城壁に心を留めよ。その宮殿を巡り歩け。後の時代に語り伝えるために。

48:14 この方こそまさしく神。世々限りなくわれらの神。神は死を越えて私たちを導かれる。



この歌も47編と同じく、敵からの救いを歌っています。セナケリブ来襲であるという説と47節に表わされる連合国の来襲という説があります。が、いずれにしても主の偉大な力に信頼する信仰が表されています。

その中でも「タルシシュの船を打ち砕かれる」というように、その史実的表現は具体的です。私たちも主のみわざを思うとき、感謝するとき、証しするときは具体的であることが、確信につながりますから、そうしましょう。「後の時代の恵みを思い巡らし」しましょう。「後の時代に語り伝えるために。」

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたなどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

